認知症関連検討会議体と計画の位置付け　イメージ

北九州市オレンジ会議
(北九州市認知症施策推進会議)

北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議
認知症対策・権利擁護に関する会議

次期高齢者支援計画策定のため、有識者や市民で構成。意見交換・情報交換により、幅広い考えを計画に反映させることを目的とする会議。

構成員：医師会・薬剤師会・弁護士会・社会福祉士会・司法書士会・老いを支える北九州家族の会・認知症疾患医療センター・大学教授・看護協会・介護福祉士会・認知症草の根ネットワーク

（主な論点）医療サービス・介護サービス
権利擁護・服薬管理・家族支援・見守りなど

構成員以外の参画を依頼する

外部組織・団体

- 警　察
- 交通機関
- 金融機関
- 医療・介護関係団体
- その他

徘徊高齢者対応・悪徳商法への対応・交通事故の防止・買い物支援　など

次期高齢者支援計画

- 総論
- 各論
- 各論
- 各論
- 介護保険事業計画

北九州市版オレンジプラン
(北九州市認知症施策推進計画)

<u>方向性の柱（仮）</u>

- ○ 早期診断・早期対応
- ○ 地域での生活を支える医療サービスの構築
- ○ 地域での生活を支える介護サービスの構築
- ○ 地域での日常生活・家族の支援の強化
- ○ 若年性認知症施策の強化
- ○ 医療・介護サービスを担う人材の育成
- ○ 認知症ケアパスの作成・普及
- ○ その他（官民の連携、予防　など）

認知症対策を推進するための総合計画
（民間と共同で作成）